

1. 科目名 (単位数)	心理演習 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP3355
2. 授業担当教員	佐藤 篤司		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	臨床心理学概論、心理学的支援法(基礎、演習)、精神疾患とその治療、心理的アセスメント、関係行政論のすべてを履修済みであること。		
7. 講義概要	<p>本科目は、公認心理師国家試験受験資格の要件となる心理実習を行うための準備として、具体的場面を想定した心理支援に関する知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とする。そのために、次の(ア)から(オ)について、基本的な知識を修得し、また具体的な場面を想定した役割演技(ロールプレイング)、事例検討を行う。</p> <p>(ア) 心理に関する支援を要する者等に関する次の(1)から(4)の知識及び技能の修得  (1) コミュニケーション、(2) 心理検査、(3) 心理面接、(4) 地域支援 等  (イ) 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援の計画の作成  (ウ) 心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ  (エ) 多職種連携及び地域連携  (オ) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解</p>		
8. 学習目標	<p>(ア) 心理に関する支援を要する者等に関する次の(1)から(4)の知識及び技能を修得する  (1) コミュニケーション、(2) 心理検査、(3) 心理面接、(4) 地域支援 等  (イ) 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握について基本的な知識を修得し、支援の計画の作成について架空事例の検討を通して学ぶ。  (ウ) 心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチについて理解する。  (エ) 多職種連携及び地域連携について理解し、説明できるようになる。  (オ) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務について理解ができる。</p>		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	事前学習において、授業の中で取り扱う予定の内容について各人で調べておき、事後学習では授業内で扱った重要語句を500字程度で纏めておくこと。レポート課題の内容は、各心理療法に関するものとする。レポート課題の提出期限は授業最終日とする。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】指定無し。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準  学習目標にあげた(ア)～(オ)の5項目について、基本的な知識の修得、ならびにロールプレイングや事例検討への積極的な参加を評価する。</p> <p>○評定の方法  学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢50%、課題レポート50%で判断する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>この授業を受けるだけで心理臨床の専門的な技術が身に付くというわけではない。授業の中で触れるさまざまな心理臨床の理論を学び、そして体験する中で、それぞれの流派の間観や方法論が理解できるようになることを期待する。将来、専門職に就くことが期待されるが、社会生活の中での人との関わりの上でも役立つと考える。</p> <p>初回授業では受講ルールや成績評価の詳細を説明する。受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。なお、受講態度と課題への積極的な取り組みを評価する。授業内容に関連しない私語・居眠りや携帯電話の使用、事前に通知のない欠席・遅刻・早退は減点の対象となる。</p>		
13. オフィスアワー	時間帯が決まり次第、周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション ①授業の全体像	事前学習	シラバスを熟読する。
		事後学習	講義概要、学習目標、成績評価の方法の詳細を確認する。
第2回	面接構造	事前学習	面接構造について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第3回	インタビュー・アセスメント面接	事前学習	インタビュー・アセスメント面接について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第4回	コンサルテーション・ガイダンス	事前学習	コンサルテーション・ガイダンスについて自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第5回	カウンセリング(心理療法)の諸派① —精神力動的(精神分析)アプローチ	事前学習	精神分析について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。

第6回	カウンセリング（心理療法）の諸派② —来談者中心のアプローチ	事前学習	来談者中心療法について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第7回	カウンセリング（心理療法）の諸派③ —行動・認知行動的アプローチ	事前学習	行動・認知行動療法について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第8回	心理検査①投映法	事前学習	投映法について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第9回	心理検査②質問紙法	事前学習	質問紙法について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第10回	心理検査③知能検査法	事前学習	知能検査法について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第11回	事例検討①乳幼児期	事前学習	乳幼児期の問題について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第12回	事例検討②児童・思春期	事前学習	児童・思春期の問題について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第13回	事例検討③成人期	事前学習	成人期の問題について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第14回	全体のまとめ	事前学習	レポート提出の準備をする。
		事後学習	授業のまとめをノートに記入する。
第15回	確認のワーク	事前学習	まとめたノートを見直しておく。
		事後学習	記入していなかった重要語句をまとめる。